

いただきました。この研修会について、市長も評価しているということをおっしゃいましたけれど、この試食会あるいは研修会、これがうまく盛り上がった要因は何だというふうにお考えですか。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 私もこの研修会の会場に行かせていただいて、漁民の皆様が本当に真から困っているということで、豊かな海をつくるのが急務ではないかなということで、盛り上がったのではないかなというふうに私は感じました。

○議長（小川 廣康君） 5番、小島徳重君。

○議員（5番 小島 徳重君） 平成28年のときにも磯焼け関係のことを取り上げたのですが、そのときに比べて動き出したと思います。ある組合長さんの言葉、「今まで全く成果が上がっていない。やっと市が対策を取り出した。遅い」と、遅いけれどもやり出したということは、組合長さんも評価されたような発言でした。私なりに個人的に考えたことは、市長がおっしゃったように、漁民をサポートする行政です。それと、MITさんです。ここは市の委託を受けて絡まれた。そして、試食やいろんな試作品についても、漁協の婦人部の方が活動された。これが一体となった活動になって初めて動き出したし、さあやろうという気持ちが出たと思うのです。以前も取り上げましたけれども、このことについてはもっと市が磯焼け対策本部なりを立ち上げて、組織として動かすことを強く要望して、このことを終わりたいと思います。

以上です。

○議長（小川 廣康君） これで、小島徳重君の質問は終わりました。

○議長（小川 廣康君） 暫時休憩します。再開を2時30分からといたします。

午後2時19分休憩

午後2時28分再開

○議長（小川 廣康君） 再開します。

報告します。淵上清君から早退の届け出があっております。

引き続き、市政一般質問を行います。6番、吉見優子君。

○議員（6番 吉見 優子君） こんにちは。一般質問をします。2点ほど質問をします。

1点は、国際免許証による自動車事故について。

国際免許による自動車事故が多発していると聞いております。このことについて、市の対応策をお伺いいたします。

2点目は、志賀ノ鼻大橋の街灯の増設についてですが、これは平成29年6月定例会の再質問となります。そのときの市長の答弁は、新設が必要な部分については必要な予算を要求していく

とのことでしたが、それから早1年半がたちました。その経過をお伺いいたします。

以上です。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 吉見議員の質問にお答えいたします。

まず1点目の国際免許による自動車事故についてでございますけれども、昨年は韓国から35万6,000人の旅行者に御来島いただき、ことしはそれを上回り、7年連続で過去最高を更新する勢いでございます。

一方で、旅行者に占める個人旅行の割合が高まるにつれて、島内でのレンタカー利用者もふえ、それに伴い交通事故が増加しております。韓国人旅行者の運転するレンタカーが関係する事故の件数につきましては、平成26年の18件から平成29年には52件と約3倍に急増しております。また、ことしは1月から10月までで既に54件と昨年を上回る発生状況であります。

事故の主な内容につきましては、平成27年及び28年に各1件人身事故が発生しているほかは、いずれも物損事故となっております。韓国では車が右側通行となるなど、我が国と交通ルールが異なることから、車の左側をガードレールにぶつけるなど、左側通行のふなれによると思われる事故が約85%と多数を占めております。

このため、市としましては、日本での運転にふなれなドライバーへの配慮を周囲に促し、事故の未然防止につなげるため、平成28年10月に外国人観光客が運転するレンタカー向けの専用ステッカー約400枚を作成し、レンタカー会社へ配布しております。

また、昨年には警察署の指導により、日本で運転をするときの注意事項について説明する韓国語の書式を定め、韓国人観光客に車を貸し出す際には同説明書式により説明の上、署名をいただくよう市内レンタカー会社に御協力いただいております。

そのほか交通ルールの周知を含めた観光客向けのマナーアップのためのDVDを作成し、釜山から対馬に入港する際、下船前に船内のモニターで放映していただくとともに、比田勝港の入国審査棟でもスライドをごらんいただくようにしております。

以上のような取り組みを行っておりますが、韓国人観光客の総数が伸び続ける中、交通事故の未然防止を図るとともに、事故なく島内各地をレンタカーで回っていただきやすい環境を整えることを通じて、島内観光消費の増につなげるため、引き続き警察署及び関係機関と連携してまいります。

次に、2点目の志賀ノ鼻大橋の街灯の増設についてでございますが、吉見議員さん先ほども申されましたように、平成29年第2回定例会での質問をいただき、新設が必要な部分については必要な予算を対馬振興局のほうに要求し、対応してまいりたいと答弁したところであります。

現在も久田地区側の荷さばき所付近から橋のたもとでの約200メートル区間に照明灯がなく、

ウォーキングやジョギングをされている方にとっては暗くて危険な区間となっている状況であることは認識しております。

再度対馬振興局の担当課に確認いたしましたところ、本年度既存の引き込み柱に添加する形で1灯の設置を予定しているとのことでございます。また、その他の新設部分につきましては、多大な事業費が必要となることから、早急な対応は難しいため、有利な補助事業等での対応を検討してまいりたいとのことございました。

そしてまた、私も先週、振興局長が対馬市役所においでになったときに、このことにつきまして、今ここにあります九電柱等にあと2灯ほどぜひとも追加をしてくださいというようなお願いをしているところでございます。

以上でございます。

○議長（小川 廣康君） 6番、吉見優子君。

○議員（6番 吉見 優子君） 今説明を受けましたけれども、国際免許証によるステッカーの図柄、イチョウの葉っぱの図柄で私はすごく気に入っております。いい感じだと思います。

それで、これは振興局と対馬市役所の2つの行政でつくられたと聞いております。目的はやはり事故防止のためだと思いますし、今聞いたら400枚をつくったということでした。この400枚は400枚としてまた後でお尋ねをします。

1枚の単価はお幾らになつたのでしょうか。お尋ねします。

○議長（小川 廣康君） 観光交流商工部長、俵輝孝君。

○観光交流商工部長（俵 輝孝君） お答えしたいと思います。

平成28年の10月に作成をいたしております。1枚単価というのは出しておりません。総額で56万1,400円ですので1,400円ということになっております。

○議長（小川 廣康君） 6番、吉見優子君。

○議員（6番 吉見 優子君） 1枚1,400円はちょっと高いと思いますが、それはそれとして、ステッカーを作成された趣旨からして、400枚というのは車両の前後につけるとして、200台分になるかと思えます。

それで、市長は11月現在で各レンタカー事業者のレンタカーの保有数を調べたことはございますか。調べてありましたらお知らせください。

○議長（小川 廣康君） 観光交流商工部長、俵輝孝君。

○観光交流商工部長（俵 輝孝君） 昨年確認をいたしましたが、レンタカーの組合的なものがなくて、はっきりした数字は各社聞き取りという形でしたところ、大体200台前後、ただその後、昨年からかなりふえている認識は持っています。調べた当時は200台前後ということで、この400枚ということではしております。

○議長（小川 廣康君） 6番、吉見優子君。

○議員（6番 吉見 優子君） 私もこの一般質問をするに当たりまして、11月15日に比田勝港に行きまして、レンタカー6事業者にレンタカーの保有数を聞いてまいりました。またその後何日かたって、厳原港の3業者にまた保有数を聞いてまいりました。その9事業者の総合が大体で約320台と伺っております。計算したらそのようになりました。

28年度につくられたステッカーで200台で400枚という計算は、現在のレンタカーの数をはるかに上回っておりますので。まず320台とします。そしたら、640枚要ると思います。レンタカーの調査に行つてまいりましたが、いろいろな要望等もかなりありましたので。今聞くと28年度に行った数字だということですので、これからぜひともレンタカー業者の方に訪問をしていただきたいと思います。いろいろな要望があるようでございました。聞いてきてはおりますけれども、この場では控えたいと思いますので。レンタカーの数もふえましたし、ぜひとも担当の方に行つていただいて、その実情を調べてほしいと思いますが、市長どのようにお考えでしょうか。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 実情を市のほうで調べるということについては異論ありませんが、ただ私が聞く中で、あるレンタカー業者の方については自社で自社のデザインを入れながら作成もしてあるというような会社もあるというふうに聞いておりますし。また、いろんな方に話を聞いたところ、いつまでも市がそれに対して補助をしていくのも果たしてどうなのかというような、そのような意見を持っている方もいらっしゃるというふうなところでございますので。調査はしたとして、今後またそのことについてはいろいろと検討を重ねてまいりたいというふうに思います。

○議長（小川 廣康君） 6番、吉見優子君。

○議員（6番 吉見 優子君） ぜひとも各レンタカー会社のほうに訪問していただいて、実情とその方たち等の要望がたくさんあるようでございますので、ぜひとも行っていただきたいと思っております。お約束できますでしょうか。

○議長（小川 廣康君） 観光交流商工部長、俵輝孝君。

○観光交流商工部長（俵 輝孝君） レンタカー事業者さん、バスの事業者さんとの会議もありますので、レンタカー事業者さんと意見聴取の場を設けるなり訪問するなりということは、こちらのほうで検討をして実施をしていきたいと思っております。

○議長（小川 廣康君） 6番、吉見優子君。

○議員（6番 吉見 優子君） 会議があるからその場で言うということではなくして、私たち市民はこの交通事故等が大変気になっております。市民の方が本当に悩んでおりますので、積極的に市のほうから各事業者のほうに出向いてもらって、現況調査をしていただきたいと思いますが、

再度お願いします。

○議長（小川 廣康君） 観光交流商工部長、俵輝孝君。

○観光交流商工部長（俵 輝孝君） 会議を設けるからということではなくて、まわるのはまわって調査をしていきたいと思えますけれども。ある程度共通認識を持った上でレンタカー事業者さんとも話をしたいので、集まる場も設けたいと思っております。

以上です。

○議長（小川 廣康君） 6番、吉見優子君。

○議員（6番 吉見 優子君） そういう共通の意味を持ちまして、会合で話すと、そういう共通の中身を踏まえて会議を開くということではよろしいですか。私も業者を回ったときに、市のほうから来てもらうようにお願いするのではというふうに約束してきておりますので。今一番大事なことです。生命に関係することですから、ぜひともそのくらいの誠意は市のほうも見せてください。よろしくお願いします。

レンタカー保有数が320台ぐらいあるのですが、1日の利用がどのくらいあるかということでみましたけれども、多いのが7月から9月の間の夏休みがもちろん多いと思います。一番多いのが8月で、このとき聞きましたら、1日で110台ぐらいレンタカーを出されているようでございます。レンタカーの保有数320台と1日一番忙しいときの8月に110台のレンタカーが使用されているということにつきまして、市長はこの数字が多いと思われませんか。少ないと思われませんか。どちらでしょう。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 確かに比田勝地区のほうではかなりの台数が出ているということは聞いておりましたので、ここでマックス110台ということで、特別多いとも感じておりませんし、もちろんこの110台の中には韓国の観光客だけではなくて、8月でありますと盆が重なりますので、私の知り合いも比田勝、厳原でレンタカーを探したけれども実はレンタカーがとれなかったというようなことも言うておりましたので、そういう面からいきますと110台は妥当な数字なのかなというふうに思っております。

○議長（小川 廣康君） 6番、吉見優子君。

○議員（6番 吉見 優子君） 国際免許のステッカーについて、各事業者の方に聞いてまいりましたけれども、最初は無料提供でございましたということでした。それでもう足らなくなったので、再度もらいにいったらもうもらえなかったとか。そして、ステッカーがないので張っていない。これは義務化されていないので張っていないということではございましたので、その原因は市のほうがつくっているステッカーが不足しているということになりますので、ぜひともこの機会に再度考えていただきたいと思えます。市のほうが全て出すべきではないのではないかと市長は

言われましたけれども、市長はこれをつくるに当たって、事故を防ぐために云々と言われましたので、その趣旨からしたらやはりつくって、無限大にふえるものではございませんので、よく考えていただきたいと思います。

それと、交通ルールについてお伺いしてまいりました。日本の車両は左側通行でございますが、韓国は右側通行となっており、直進の信号が赤でも右折が可能ということで右折されるようでございます。私たちにとっては禁止されていることで、とっても危険な状態でございます。

それともう一つ、韓国の方が、韓国ではペーパードライバーなのだけでも対馬は交通量が少ないということでレンタカーを借りていかれたというようなことも伺いました。

以上のようないろいろな理由からして、車両のステッカーを前後に張ってもらうのが、交通事故防止のために不可欠だと思います。また、これが抑止力になりますので、ぜひともステッカーを張ることを実現していただきたいと思います。

ここで、詳しく交通ルールとかステッカーについての説明、ある文章が目につきました。これは、対馬南地区交通安全協会からのお知らせということで、国際免許ステッカーについての対馬新聞の10月26日の記事を紹介したいと思います。すごくわかりやすい文章です。1から10まで読みます。国際免許ステッカーについて、「対馬島内の外国人観光客が35万人を超え、外国人のレンタカーの利用が増加中です。この外国人観光客の交通事故防止を図るため、平成28年10月に対馬振興局と市が「外国人観光客のレンタカーステッカー（国際免許ステッカー）」を作成し、レンタカー事業者に無償で配布しています。レンタカーを利用する外国人は「右側通行」の国の方です。日本は「左側通行」の国です。外国人の方は、センターラインがあるところはスムーズに走っておられますが、センターラインがなくなると、つい右側通行になりがちです。対馬の道路事情からいけば、国道・県道・市道等ありますが、センターラインがある道路とない道路は半々なので、正面衝突になった事案がありましたので御用心ください。また、右側通行の国では信号に関係なく常時右折可能です。たまに正面が赤信号でも右折する車を見かけます。これらは交通ルールの違いからくるもので、私たちが向こうに行けば同様だと考えます。国際免許ステッカーの車を見かけたら、まだ日本のルールになれていないことを理解した上での対応の運転をしてください」、これは物すごくわかりやすいと思います。私の記憶では、市の広報では見たことがないのですが、よければまた近いうちに市のほうでもこのような、この文章は対馬新聞を購読されている方はわかると思いますが、広報はほとんどの方がよく見られておりますので、広報にもこの文章のようなことを書いて周知していただきたいと思います。私も読んでここが大事ですといっているところが、「国際免許ステッカーの車を見かけたら」というところなのですが、比田勝のほうでもうステッカーがもらえないからということで、自分たちでつくっている事業所も二、三軒見受けられましたけれども、そのほか六、七軒はもうステッカーがなく

なって義務化ではないのでつけていないということもありましたので、そういうことも含めまして、この文章にマッチするように、ぜひとも外国人観光客の車には国際免許のステッカーを張ってもらうように、市のほうも何らかの対応をしていただきたいと思います。いかがですか。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） まず、私も冒頭の答弁の中で、外国人観光客の方に交通ルールの違いを説明しておりますということを示し上げました。実はこういう形で、赤信号では右折も左折も禁止です、こういうことを説明した上でレンタカーを借りていただくということにさせていただいているところであります。

そしてもう一件、情報提供なのですけれども、実は長崎県のレンタカー協会でも本県版の専用ステッカーを来年度に作成するようただいま検討中ということを示しております。恐らく長崎県のそういった県レンタカー協会でございますので、ここは財源はどうされるかは私もわかりませんが、恐らくそこら辺では対馬のイチョウマークにされるか、ほかのデザインにされるかも含めて、今検討をされているということでございます。

私も必要性は十分理解しております。ただ、いつまで行政がレンタカー会社に対してこういうステッカーを補助していくのかということになりますと、ある程度周知が行き届いた時点で、あとは事業者の皆さんで努力もしていただきたいと思いますというふうに考えているところでございます。

○議長（小川 廣康君） 6番、吉見優子君。

○議員（6番 吉見 優子君） わかりますが、市長は市民の生命と財産を守るのが最大の仕事だと思っております。観光客数もこの1年間で40万、50万を超すという説明でございましたが、観光客がふえるのはもう目に見えておりますので、この際義務化というのでしょうか、張っていただくような。条例とかは大変なことですのでそれ以外で、必ず張ってもらうというような何かいい策はございませんでしょうか。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 地方自治法で条例を制定できる場合といたしまして、市民や事業者等に義務を課するためには、それ以外の手法によっては被害者の損害が回復できない理由がある等と、そういったときに限って義務を課して条例等をつくることができるというようなことが記載されているところであります。今議員さんもおっしゃられるように、いつも条例化してこれを義務化するのはどうかなというふうに、私自身もそこは考えているところでございます。ですので、義務化というのは余りにも行き過ぎているのではないかなと。積極的にこれに参画をしていただくという方向で、できれば進めていただきたいと思いますというふうに私は希望をしております。

○議長（小川 廣康君） 6番、吉見優子君。

○議員（6番 吉見 優子君） 義務化ということはなかなかということですがけれども、やっぱり

命の問題ですし、これだけ外国人観光客の方が来られる島は対馬だけではないかと思います。そういうことで、義務化しないにしても、義務化と同じような方法で何か方法はないかなとも考えるのですけれども。レンタカー業界の方にこれをぜひともお願いをして、ステッカーを張ること、申し合わせ事項ではないですけれども、そんな形のお願いをぜひともしていただきたいと思います。そうでないと、レンタカー会社さんのほうも大変な痛手になりますので、市のほうで条例とかもろもろができないのであれば、レンタカー協会さんのほうにお願いをして、全体がつけられるような話にもって行っていただきたいと思います。これは急を要しますが、いかがでしょうか。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） そのような方向で努力いたしたいというふうに思います。

○議長（小川 廣康君） 6番、吉見優子君。

○議員（6番 吉見 優子君） 答弁では努力しますとか善処しますとかいう言葉がありますが、これは必ず実行していただきたいと思います。

ステッカーのことはこれで終わりますけれども、次に、事故件数について、29年度と30年度の事故発生状況について、来日韓国人による交通事故が多発していると聞きましたので、対馬市管内の警察署に平成29年1月から平成30年10月までの交通事故件数の調査依頼を提出し、回答をいただきましたので、これをもとに質問したいと思います。

物損の事故件数は、平成29年1月から12月までの1年間の事故件数は497件、そのうち対馬市民の事故件数は445件で、全体の90%です。そして、来日韓国人による事故数は52件で全体の10%でございました。要するに100件あれば10件が韓国人の方の件数です。平成30年1月から10月まで、この10カ月間の事故件数は417件で、そのうち対馬市民による事故件数は363件で、全体の87%です。来日韓国人による事故件数は54件で、全体の13%となっております。この時点で、平成30年1月から10月までの10カ月間の来日韓国人の事故件数は既に去年の1年分の事故件数を3%も上回っております。

次に、人身事故につきましては、29年は、対馬市民による人身事故は63件、30年1月から10月までの10カ月間は44件でございます。来日韓国人による人身事故件数は、29年1月から平成30年10月までの22カ月間はゼロ件でございます。大変喜ばしいことです。それに比べて対馬市民の件数はかなり多いと思います。韓国人の方のこの22カ月間の人身事故はゼロです。頭が下がる思いです。これから師走に入って大変忙しい日々を迎えますが、私も含めまして対馬市民の皆様もなお一層の安全運転のため努めなければならないと思いますが、市長はこの人身事故数を聞かれての感じをお伺いいたします。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 実はこの30年度も、12月に人身事故が1件発生しているようであり



ます。そういうことで、これまで国際免許による人身事故としては3件というデータを私はいただいております。

○議員（6番 吉見 優子君） いつからの分ですか。

○市長（比田勝尚喜君） 27年に1件、28年に1件、そしてこの30年の12月に発生して1件、3件ということでございます。確かに人身事故は大きく起こっておりませんが、ただあってはならないというようなことで、今後特に気をつけてほしいなという思いは一緒でございます。

○議長（小川 廣康君） 6番、吉見優子君。

○議員（6番 吉見 優子君） 27年、28年という古い資料でございまして、私はこの近年2年間の調査をした結果を話しました。それで、レンタカー事業者の方たちも事故が起きないように自分たちで交通ルールや注意事項などを工夫され、パンフレットを作成されております。乗られる前にそれを説明して、さらに車に常備されているとのことでございました。

また、物損事故は、警察に届けなくて済む小さな事故は日常茶飯事で、自動車はほとんどが傷ついて戻ってきているそうでございます。そのために、証拠として出発前にタブレットで写真を撮っていました。ちょうど私がいるときにされておりましたので見ました。

国際免許によるレンタカーのナンバーを、皆さん知っていなければ、市民の方も知っていなければと思いますので、調べてみました。軽自動車では、上段で長崎県597、下段では「わ」を書いて数字が続きます。そして、普通車であれば、上段の数字は長崎500、下段のところは平仮名で「れ」と書いて数字が続くようになっているようでございます。これは特殊な場合を除きましてそういうことらしいです。レンタカーの国際免許のナンバープレートの見分け方としては、今言ったことを頭に覚えておけば、「わ」と「れ」が国際免許のナンバープレートだということでございます。

いろいろと述べましたけれども、来日韓国人の人身事故は、今言いましたように22カ月間ゼロでしたが、残念なことに11月に入って、美津島町で1件の人身事故が発生しております。物損事故にしても人身事故にしても、せっかく対馬の旅を楽しみに来られた韓国人の方々には、この事故により一瞬にして楽しい旅が嫌な思い出になってしまいます。言葉もお互いに通じなく、不愉快な気持ちになっておられることもうあるかとも思います。私はこの対馬の旅を楽しくしていただくために、事故の抑止力になるためにも、ドライブレコーダーをレンタカー事業者の方、また対馬市民の皆様にも設置されたらどうかと思っております。金額を調べてみたら、3,000円ぐらいからあるそうでございます。市長は、この件どう思われましょうか。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 私も自分の車にドライブレコーダーはまだ積んでおりませんので何とも

言えませんけれど、ただ、うちの職員が福岡で事故をしたときにたまたま自分の車にドライブレコーダーを積んでいたということがありまして、人身事故みたいな事故だったらしいのですが、警察のほうから全くおとがめもなかったということを知っていますので。そういう面からすれば、やはり積んだほうが理想的なのかなというふうには思っております。

○議長（小川 廣康君） 6番、吉見優子君。

○議員（6番 吉見 優子君） この点はこれで終わりたいと思います。

2番目の質問ですが、志賀ノ鼻大橋は散歩をする人がかなり多くて、こここのところはテトラポットがあったり、高いコンクリート壁があったり、雑草が茂っていたりするところがございますので、悪いことが起こり得るような場所でもありますので、1日も早く街灯をつけていただきますようお願いいたします。今年度中ということですから、来年の3月までにはつけるということになるのでしょうか。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） これはあくまで県の対馬振興局のほうの事業になりますので、私のほうが3月までに必ずしますということをはなかなか言えないところがありまして。ただ、振興局の担当課のほうといたしましては、この30年度中にまず1基は追加しますということがございますので、恐らくされるものというふうには思っております。

○議長（小川 廣康君） 6番、吉見優子君。

○議員（6番 吉見 優子君） いろいろとありがとうございました。

最後になりましたけれども、私がこの一般質問をするための資料集めに対して、御協力をいただきましたレンタカー協会の方や警察署の方、また一般市民の方々にこの場を借りて厚くお礼申し上げます。私の質問を終わりたいと思います。ありがとうございます。

○議長（小川 廣康君） これで、吉見優子君の質問は終わりました。

---

○議長（小川 廣康君） 以上で、本日予定しておりました市政一般質問は終わりました。

あすも引き続き定刻から市政一般質問を行います。

本日はこれで散会とします。お疲れさまでした。

午後3時14分散会

---